

令和8年度 石下中学校の教育

常総市教育委員会グランドデザイン
夢をいただき 未来を創る ほっとな絆の 常総教育
常総市教育基本目標
「未来に夢をもち「生きる力」を育む学校教育の充実」

学校教育目標
豊かな心と確かな学力で夢を育てる生徒の育成

本県教育目標 第3次茨城県総合計画 学校教育指導方針
活力があり、県民が日本一幸せな県

組織目標
ほっと ほっと 石下中
(熱い想いで躍動、居心地がいい学校、あたたかい学校づくりの推進)

校訓
仲よく 強く 美しく かしく

めざす学校像
◎ 安心して学べる石下中
◎ 居心地のいいほっとする石下中
(あたたかい言葉に包まれる)
◎ 生徒、教職員、保護者、地域が
連携・協働できる学校

めざす生徒像
(1) 主体的に学び、探究的に取り組み、未来を切り拓く生徒 (知)
(2) 自分が好き 友だちが好き 石下中が好きな生徒 (徳)
(3) 体力の向上と健康な生活を基盤に、命の大切さを実感できる生徒 (体)

めざす教師像
◎ 実践的専門性を高められる教師 (授業技術)
◎ 子どもの多様性を理解できる教師 (生徒理解)
◎ 子ども、保護者、地域から信頼される教師

生徒の行動スローガン
夢中の先に答えあり ニコニコ連鎖 (ニコ連)
～年中 夢 求～

研究主題
Catch! 他者理解から自己理解へ
～条件や意図を正確に読み取る
生徒の育成～

本年度の重点施策
◎ 学力の向上 (主体的な学び、探究的な学びの実践)
◎ 生徒支援の充実 (共感的な人間関係の育成、多様性への対応)
◎ 信頼される学校づくり (保護者、地域との積極的なコミュニケーション)
◎ 安心・安全な学校 (危機管理体制、防災教育、交通安全教育の充実)
◎ 働き方改革の推進 (校務のDX化、教職員の協働体制の構築)

働き方改革
・ 3学期制から2学期制への対応に伴う業務改善
・ 部活動複数顧問制の拡充
・ 質の高い教育の実現

「人財」育成
・ 研修体制の充実「求める研修へ」
・ OJT、メンター制の活用

**◎主体的な学び、探究的な学びの実践
学力向上プランの活用**

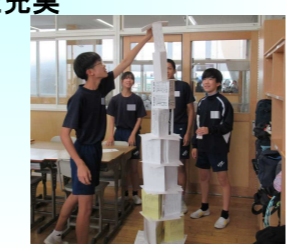
- ◎ **学びを調整できる生徒を育む個に応じた学習指導の実践**
・ 学習教材、学習形態を考え、自己決定する場の設定
・ 課題の発見、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現
振り返りの実践
- ◎ **他と関わり合う深い学びを育てる学習指導の実践**
・ 自他を尊重する態度や学級の雰囲気醸成
・ 他者との比較から自身の学びを深めるクラウドの活用
- ◎ **魅力ある学習課題と明確な評価規準を考える教員
研修の実践**
・ チーム会議による単元を貫く学習課題の検討
・ 見通しがもちやすく明確な評価規準の検討

【数値目標】
・ 県学力診断テストにおいて各学年経年変化
前年度5ポイントアップ
・ 意識調査「授業が楽しく分かりやすい」
肯定的な評価85%以上

◎共感的な人間関係の育成、多様性への対応

- ◎ **生徒支援の充実、特別支援教育の推進**
・ 生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた授業
づくり、集団づくり
・ いじめの未然防止、不登校対策の充実
・ 教育相談体制の充実
・ 特別支援学級における指導の充実
・ 通級による指導の充実
・ 外部機関、外部人材の積極的活用
- ◎ **特別活動及び道徳教育・人権教育の充実**
・ 学校生活の充実と発展に資する学校行事の充実
・ 道徳科における「考え、議論する道徳」の質的充実
・ 人権教育の推進体制の整備と充実
(国際理解、多様性への理解)


【数値目標】
学校が楽しいと感じ
る肯定的な評価90%
以上



◎保護者、地域との積極的なコミュニケーション

- ◎ **キャリア教育の推進**
・ 地域人材と地域資源の積極的活用
・ 地域のボランティア活動への積極的参加
・ 将来の夢への選択肢を増やす体験活動の充実
・ 自己の発見・蓄積のキャリアパスポートの活用
- ◎ **家庭・地域との交流の推進**
・ 登下校時の交通安全指導及び見守りの推進
・ 常総市学校支援ボランティアの活用
・ 学校ホームページの充実による詳細な情報の提供

【数値目標】
学校と家庭、地域との連携
が図られている肯定的な評価
85%以上



◎危機管理体制、防災教育、安全教育の充実

- ◎ **危機管理マニュアルの整備、見直しの充実**
・ 未然防止、早期対応の視点
・ 誰でも迅速に行動できるフローチャート化
- ◎ **安全教育(生活、災害、交通)の充実**
・ インターネット、SNS等の適切な利用
家庭との連携(ルールづくり)
・ 実践的避難訓練(風水害、火災、地震、不審者侵入
等)を通じた生徒の危機予測能力、危機回避能力の
育成
・ 避難訓練後は教職員、生徒による振り返りを実施
・ 道路交通法改正への対応(自転車の乗り方)
動画コンテンツなどの活用

【数値目標】
通信機器の使用について家庭における
ルールづくりが行われている95%以上